

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

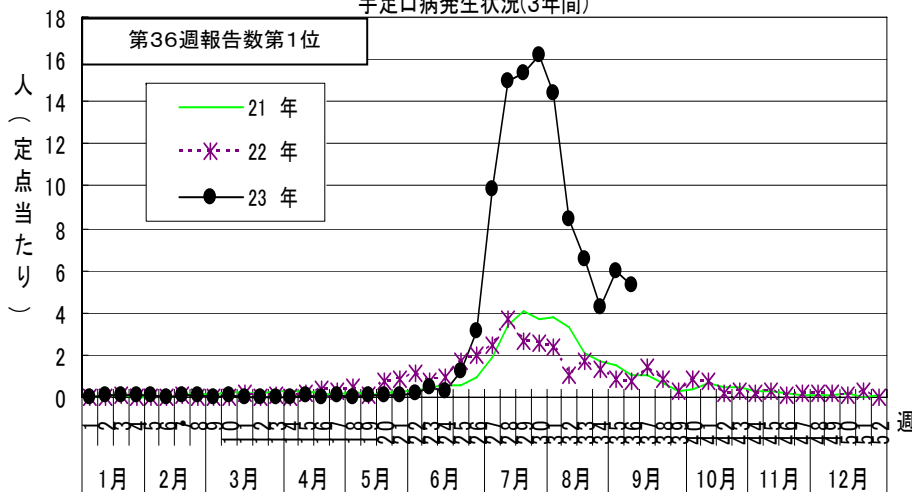
平成23年9月5日（月）～9月11日（日）〔平成23年第36週〕の感染症発生状況

第36週で定点報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

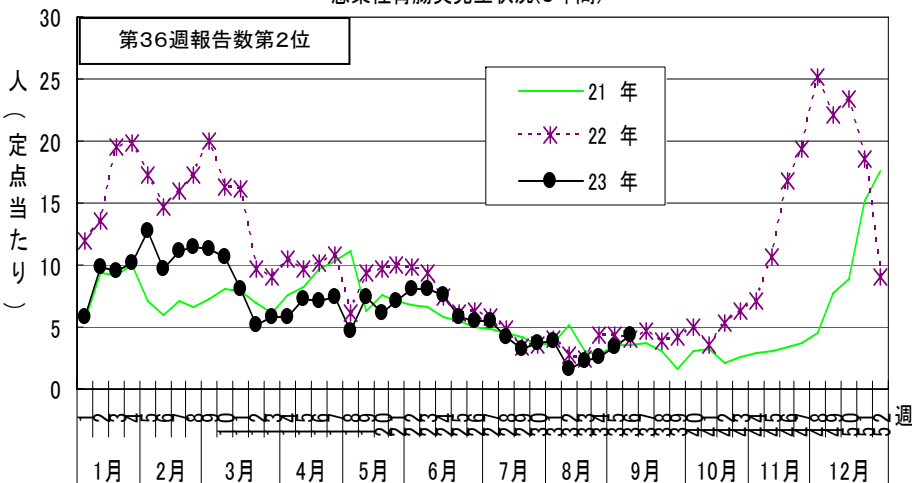
手足口病は定点当たり5.27人と前週（6.00）より患者報告数はやや減少しましたが、依然として流行発生警報基準値（定点当たり5人）よりも高いレベルで推移していますので、引き続き、発生動向に注意が必要です。

ヘルパンギーナも定点当たり2.00人と前週（2.48）より患者報告数は減少しましたが、手足口病及びヘルパンギーナについては、過去10年間の同時期の報告数と比較すると今年が最も多い報告数となっています。今年は、大きな流行が発生したことに加え、流行が長引いている状況にあります。今後も手洗いなどの予防策を徹底しましょう。

手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ポリオ(急性灰白髄炎)予防接種を受けましょう！！

川崎市では、春と秋にポリオの予防接種事業を実施していますが、平成23年度春の接種率が81.1%と昨年の同時期と比較して20%程度低く、これまでになく接種率の低下がみられました。

世界には現在も野生のポリオウイルスによるポリオ患者が発生している国が多くあります。そのため、接種率が低下するとそれらの国から野生のウイルスが入り込み、国内でポリオ患者が発生することが危惧されます。

ついては、次に示す接種対象者の方については、ポリオの予防接種を受けましょう。

ポリオ(急性灰白髄炎)予防接種について

ポリオに対する特異的な治療法がないため、ワクチン接種によってポリオウイルスの感染を予防することが最も重要です。現在、日本では経口生ポリオワクチン(0.05ml程度の液体を飲む)を、41日以上の間隔をおいて2回接種しています。

接種時期

春と秋に実施しています。秋は9月から11月にかけて実施しますので、詳細についてはお問い合わせください。接種の受付は午後1時00分から午後2時50分までです。

接種対象者

平成23年5月31日以前に生まれた生後90月(7歳6か月)に至るまでの間にあるお子さんと、まだポリオ予防接種を2回受けていない方



予防接種に関するお問い合わせは、お住まいの区の区役所地域保健福祉課まで御連絡ください

川崎区役所地域保健福祉課	044-201-3204	宮前区役所地域保健福祉課	044-856-3254
幸区役所地域保健福祉課	044-556-6648	多摩区役所地域保健福祉課	044-935-3301
中原区役所地域保健福祉課	044-744-3261	麻生区役所地域保健福祉課	044-965-5157
高津区役所地域保健福祉課	044-861-3313	健康福祉局健康安全室予防接種担当	044-200-2440

発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター(保健所)
(問い合わせ先) 044-200-2412